

2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年5月15日

上場会社名 日本テクノ・ラボ株式会社 上場取引所 札
 コード番号 3849 URL https://www.ntl.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松村 泳成
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 鈴木 孝男 (TEL) 03-5357-1830
 定時株主総会開催予定日 2026年6月25日 配当支払開始予定日 2026年6月26日
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月25日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の業績 (2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	910	42.8	141	—	151	—	100	—
2025年3月期	637	△21.8	3	△97.4	6	△94.4	5	△93.1

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	62.43	—	8.2	10.3	15.5
2025年3月期	3.70	—	0.5	0.5	0.5

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 一百万円 2025年3月期 一百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	1,578	1,268	80.4	787.32
2025年3月期	1,346	1,177	87.5	730.78

(参考) 自己資本 2026年3月期 1,268百万円 2025年3月期 1,177百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	46	△110	△16	522
2025年3月期	△25	△106	△25	602

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00	16	270.3	1.4
2026年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00	16	16.0	1.3
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—	—	—	—

2027年3月期の配当につきましては、定款において9月30日(第2四半期日)及び3月31日(期末日)を配当基準日に定めております。現時点では、9月30日(第2四半期日)基準日における配当は無配とさせていただきます、3月31日(期末日)基準日における配当予想額は未定であります。

3. 2027年3月期の業績予想 (2026年4月1日~2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	950	4.40	180	27.66	180	19.21	130	30.00	80.68

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2026年3月期	1,731,000 株	2025年3月期	1,731,000 株
2026年3月期	119,600 株	2025年3月期	119,600 株
2026年3月期	1,611,400 株	2025年3月期	1,619,372 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	6
3. 財務諸表及び主な注記	7
(1) 貸借対照表	7
(2) 損益計算書	9
(3) 株主資本等変動計算書	10
(4) キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(持分法損益等)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17
4. その他	18
(1) 生産、受注及び販売の状況	18
(2) 役員の異動	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社は、既存顧客の運用を支援しながら、製品の品質・機能を向上させ、顧客満足度を上げることによりユーザーとの信頼関係を築きつつ、競争力のさらなる強化に努め、新規ユーザーを獲得すべく営業活動に邁進してまいりました。

当事業年度におきましては、イメージング&プリンタコントローラ事業は増収増益となり、ストレージソリューション事業は減収かつ損失増加となりました。セキュリティ事業は、セキュリティプリントシステム部門は増収増益となり、統合監視映像システム部門は増収かつ利益計上となりました。セキュリティ事業全体としては、増収増益となりました。その他事業も増収増益となり、4事業のうち、3事業で増収増益となりました。

その結果、当事業年度の業績は、売上高は910,646千円（前年同期比42.8%増）、営業利益は141,477千円（前年同期比4,263.3%増）、経常利益は151,126千円（前年同期比2,059.4%増）、当期純利益は100,594千円（前年同期比1,579.7%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(イメージング&プリンタコントローラ事業)

当事業における開発製品はMistral（ミストラル）およびPSR（ピーエスアール）であり、当事業においては、主に、産業用インクジェットプリンタ、広巾長尺プロッタ等のコントローラ（制御ソフトウェア）の開発、販売、保守業務を行っております。

当事業年度におきましては、売上高は243,342千円（前年同期比27.5%増）、セグメント利益は110,067千円（前年同期比28.5%増）となりました。

(ストレージソリューション事業)

当事業における開発製品はMnemos（ネモス）であり、当事業においては、主に、可搬型記憶媒体システムの開発、販売および保守業務を行っております。

当事業年度におきましては、売上高は8,698千円（前年同期比59.1%減）、セグメント損失は23,108千円（前年同期セグメント損失は19,541千円）となりました。

(セキュリティ事業)

当事業における開発製品は、SPSE（エスピーエスイー）、PC GUARD（ピーシーガード）、COPY GUARD（コピーガード）およびFIREDIPPER（ファイヤーディッパー）であり、主に、セキュリティプリントシステムや統合監視映像システムなどのセキュリティシステムの開発、販売および保守業務を行っております。

当事業年度におきましては、売上高は613,929千円（前年同期比44.4%増）、セグメント利益は186,331千円（前年同期比201.7%増）となりました。

(その他事業)

当事業における業務は主に受託開発等であります。

当事業年度におきましては、売上高は44,676千円（前年同期比16,171.9%増）、セグメント利益は1,847千円（前年同期比2,371.4%増）となりました。

(研究開発活動)

研究開発活動は、開発部を中心に行われており、当事業年度における研究開発費の総額は前事業年度より8,716千円減少し、93,457千円（前年同期比8.5%減）となりました。

セグメントごとの研究開発活動を示すと次のとおりであります。

(イメージング&プリンタコントローラ事業)

当事業におきましては、前事業年度に引き続き、インクジェットコントローラの開発および新型ポストスクリプト・ラスタライザを当社の既存のプリンタ制御ソフトウェアに対応させる開発等を行いました。

その結果、当事業にかかる研究開発費は4,708千円（前年同期比12.0%減）となりました。

(ストレージソリューション事業)

当事業におきましては、前事業年度に引き続き、可搬型記憶媒体システムの一部であるデータアーカイバの開発を行いました。

その結果、当事業にかかる研究開発費は9,320千円（前年同期比25.2%減）となりました。

(セキュリティ事業)

当事業におきましては、前事業年度に引き続き、SPSEの改良、オプション機能の開発および統合監視映像システムをスマートフォンに対応させるための開発を行いました。

その結果、当事業にかかる研究開発費は79,427千円（前年同期比5.9%減）となりました。

(その他事業)

当事業におきましては、前事業年度及び当事業年度において研究開発費は発生しておりません。

(2) 当期の財政状態の概況

(流動資産)

当事業年度の流動資産合計は1,123,874千円と前事業年度末に比べて114,784千円増加しました。増加した主な要因は、現金及び預金が80,406千円減少しましたが、電子記録債権が24,510千円、売掛金及び契約資産が173,498千円増加したこと等によるものです。

(固定資産)

当事業年度の固定資産合計は454,619千円と前事業年度末に比べて117,452千円増加しました。増加した主な要因は、投資有価証券が9,682千円、保険積立金が105,582千円増加したこと等によるものです。

(流動負債)

当事業年度の流動負債合計は232,628千円と前事業年度末に比べて135,886千円増加しました。増加した主な要因は、買掛金が56,397千円、未払法人税等が50,080千円、未払消費税等が20,270千円、未払金が16,390千円増加したこと等によるものです。

(固定負債)

当事業年度の固定負債合計は77,043千円と前事業年度末に比べて5,241千円増加しました。これは、繰延税金負債が5,056千円増加したこと等によるものです。

(純資産)

当事業年度の純資産合計は1,268,822千円と前事業年度末に比べて91,109千円増加しました。増加した主な要因は、当期純利益を100,594千円計上したこと等によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物の期末残高は80,406千円減少し、522,065千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における営業活動の結果得られた資金は46,393千円となりました。主な要因は、税引前当期純利益151,126千円の計上、減価償却費の計上5,830千円、仕入債務の増加56,397千円、法人税等の還付額20,995千円、売上債権の増加198,009千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における投資活動の結果使用した資金は110,715千円となりました。これは、保険積立金の積立による支出109,434千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における財務活動の結果使用した資金は16,093千円となりました。これは、配当金の支払額16,093千円によるものであります。

(4) 今後の見通し

(イメージング&プリンタコントローラ事業)

当事業におきましては、すでに実績のある印刷機械メーカー大手二社からの受注を推進すること、及び、この大手二社との関係を強化することに注力しております。大手二社のうち一社は、従来の最高性能高額製品に加えて新たに発表された新型機の量産体制に入りました。当年度、この新型機用に複数セットのコントローラを受注し、年度内に、その内の全数近くを納品いたしました。この新型機と従来の印刷機の仕様は大幅に異なりますが、当社技術者がその仕様変更に対応し、コントローラとして、ハードウェア及びソフトウェアを完成いたしました。これ以前に、すでに発表されていた大型機は印刷全長が40メートルを超える大きさで、既存の建屋では収容しにくいことがネックであったため、大きさ、価格ともに半分に近い新製品が企画、開発、量産され、当社は、今後もまた、多数セットのコントローラを受注することが予測されます。

もう一社は特殊印刷機を開発販売している会社で、弊社製品は当該会社がマーケット展開をしつつある食品用フィルム包装紙、袋用印刷機に使用されております。食品用のフィルム印刷には禁忌と思われる毒性の強いUVインクに代わる水性速乾インクの開発に資金、人材、設備を投入し、開発に成功した経緯があります。印刷時に色彩を際立たせる白地用の水性白色インクの開発製造に挑戦し、菓子メーカー数社に機械の納入ができました。この会社は海外の印刷会社にも納入いたしました。今後は海外、国内の食品メーカーに納入が進んでいくものと予測されます。

これらの既存顧客二社に加えて印刷物の不良印刷をオンラインでリアルタイム検出する装置を製造している顧客があります。この会社とはしばらく取引が途絶えておりましたが、コロナ禍の終息に伴い、再度事業を復活させることになり、弊社の主力プリンターコントローラ製品（製品名：Mistral）を購入していただきました。業態が業態だけにかなりニッチな分野であるために、多くの数字は望めないものの、相当な付加価値がありますので、その将来性に期待したいと思います。

(ストレージソリューション事業)

当事業におきましては、バリウムフェライト素材により作成された複数巻のLTOテープメディア（1巻18テラバイト）を使用し、データを長期保存することが可能なライブラリシステム（製品名「MnemosNEXT」）の導入に向けた営業活動を行っております。昨今、ペタバイトクラスの大容量ライブラリシステムの引き合いが増加し、データの保管・運用が喫緊の課題である医療現場や医療研究部署に納入され始めており、昨年度は、当社製品FIREDIPPERとの連携による薬剤製造工場内の365日映像の記録システムとして採用されました。当装置は、大容量データを一括管理しなければならない国家プロジェクト、先端研究分野、テレコム産業等におきましても大きな需要があると思われます。引き続き、この様な大型導入に向けて営業活動を継続してまいります。

(セキュリティ事業)

当事業のセキュリティプリントシステム事業におきましては、インク・トナーを最大90%削減するトナー機能、オフィス内のあらゆるプリンター・複写機の電力消費量を測定収集するCO2オフセットナビゲーター機能、全てのプリンター・複合機に出力されるドキュメントの文章および印刷イメージを収集し、検閲および監査機能を統合したセキュアプリントソリューション（製品名「SPSE」）を提供しております。またMicrosoft Windows Protected Print、Google Chromebook、Apple MacOS・iOSに対応し、さらに全てのクライアントPC上のプリンターを制御できる製品（製品名「TCCM」）の販売を開始しました。両製品共に官公庁、自治体に採用され、引き続き大規模導入に向けて営業活動を継続してまいります。また、PC端末の利用制限とPC内データの暗号化・複号化する（製品名「PC GUARD」）、ソフトウェアの不正使用・不正コピーを防止する製品（製品名「COPY GUARD」）の開発・販売、本製品を用いてWEBサイト利用時に本人認証並びに閲覧制限、印刷制限等を実現するインテグレーション開発を行っております。

当事業の統合監視映像システム事業におきましては、各メーカー製IPカメラ対応ネットワーク遠隔監視ソフトウェア（製品名「FIREDIPPER」）の開発・販売、本システム導入構築のインテグレーション開発を行っております。AI技術を用いた画像解析、モジュール型組込みコンピューター「NVIDIA Jetson」を活用した画像変換サーバーの開発、販

売も積極的に行っております。

(その他事業)

当事業におきましては、東京大学より、量子計測・放射線計測研究に使用する専用ボードの開発を受託いたしました。本ボードは、FPGAを搭載し、基板クロックを大幅に上回る50ピコ秒 (ps) の時間分解能でパルスを測定できることを最大の特長としております。複数のボードを組み合わせることで、多方向からの同時計測が可能となり、放射線発生源の位置をこれまでにない精度で特定することができます。本技術は、次世代PET (陽電子放出断層撮影) 装置への応用をはじめ、原子力発電所等における高精度な放射線モニタリングへの活用が期待されており、医療診断及び安全管理の両分野における技術革新に貢献するものと認識しております。当社は、本開発を通じて得られた知見と技術力を今後の事業展開に活かし、引き続き科学技術の発展および社会課題の解決に取り組んでまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は連結財務諸表を作成していないため、国際会計基準に基づく財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	602,471	522,065
電子記録債権	125,733	150,244
売掛金及び契約資産	192,758	366,256
商品及び製品	24,801	50,580
仕掛品	5,331	1,336
貯蔵品	45	45
前渡金	1,247	-
未収還付法人税等	22,441	-
未収消費税等	2,052	-
前払費用	32,572	33,426
短期貸付金	-	247
その他	43	341
貸倒引当金	△410	△670
流動資産合計	1,009,089	1,123,874
固定資産		
有形固定資産		
建物	23,736	25,556
減価償却累計額	△1,494	△3,309
建物(純額)	22,242	22,246
車両運搬具	12,708	12,708
減価償却累計額	△12,708	△12,708
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品	64,590	70,967
減価償却累計額	△59,234	△61,759
工具、器具及び備品(純額)	5,355	9,207
有形固定資産合計	27,597	31,454
無形固定資産		
ソフトウェア	356	235
電話加入権	1,569	1,569
無形固定資産合計	1,926	1,805
投資その他の資産		
投資有価証券	14,144	23,826
関係会社株式	0	-
出資金	10	10
差入保証金	52,562	51,773
保険積立金	234,144	339,726
預託金	22	22
繰延税金資産	759	-
その他	6,000	6,000
投資その他の資産合計	307,643	421,359
固定資産合計	337,167	454,619
資産合計	1,346,256	1,578,493

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,917	63,315
未払金	2,876	19,267
未払費用	14,102	14,788
未払法人税等	4,756	54,836
未払消費税等	-	20,270
契約負債	64,826	56,943
預り金	3,218	3,152
その他	43	53
流動負債合計	96,742	232,628
固定負債		
繰延税金負債	-	5,056
長期未払金	59,700	59,700
資産除去債務	12,102	12,286
固定負債合計	71,802	77,043
負債合計	168,544	309,671
純資産の部		
株主資本		
資本金	436,200	436,200
資本剰余金		
資本準備金	430,700	430,700
その他資本剰余金	2,569	2,569
資本剰余金合計	433,269	433,269
利益剰余金		
利益準備金	200	200
その他利益剰余金		
別途積立金	5,000	5,000
繰越利益剰余金	347,154	431,634
利益剰余金合計	352,354	436,834
自己株式	△53,759	△53,759
株主資本合計	1,168,064	1,252,544
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9,507	16,137
評価・換算差額等合計	9,507	16,137
新株予約権	141	140
純資産合計	1,177,712	1,268,822
負債純資産合計	1,346,256	1,578,493

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高		
商品売上高	2,241	26,315
製品&サービス売上高	635,259	884,331
売上高合計	637,500	910,646
売上原価		
商品売上原価	1,527	24,257
製品&サービス売上原価	290,473	401,939
売上原価合計	292,001	426,196
売上総利益	345,498	484,449
販売費及び一般管理費	342,256	342,972
営業利益	3,242	141,477
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,064	1,859
受取保険金	1,994	6,566
保険事務手数料	816	756
その他	37	828
営業外収益合計	3,913	10,011
営業外費用		
為替差損	12	61
支払手数料	145	-
その他	-	299
営業外費用合計	157	361
経常利益	6,998	151,126
税引前当期純利益	6,998	151,126
法人税、住民税及び事業税	638	47,769
法人税等調整額	371	2,763
法人税等合計	1,009	50,532
当期純利益	5,988	100,594

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計
					別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	436,200	430,700	2,569	433,269	200	5,000	357,417	362,617
当期変動額								
剰余金の配当							△16,252	△16,252
当期純利益							5,988	5,988
自己株式の取得								
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	—	—	—	—	—	—	△10,263	△10,263
当期末残高	436,200	430,700	2,569	433,269	200	5,000	347,154	352,354

	株主資本		評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	△44,631	1,187,455	9,689	9,689	142	1,197,287
当期変動額						
剰余金の配当		△16,252				△16,252
当期純利益		5,988				5,988
自己株式の取得	△9,127	△9,127				△9,127
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			△182	△182	△1	△183
当期変動額合計	△9,127	△19,390	△182	△182	△1	△19,574
当期末残高	△53,759	1,168,064	9,507	9,507	141	1,177,712

当事業年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計
					別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	436,200	430,700	2,569	433,269	200	5,000	347,154	352,354
当期変動額								
剰余金の配当							△16,114	△16,114
当期純利益							100,594	100,594
自己株式の取得								
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	—	—	—	—	—	—	84,480	84,480
当期末残高	436,200	430,700	2,569	433,269	200	5,000	431,634	436,834

	株主資本		評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計		
当期首残高	△53,759	1,168,064	9,507	9,507	141	1,177,712
当期変動額						
剰余金の配当		△16,114				△16,114
当期純利益		100,594				100,594
自己株式の取得						
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			6,630	6,630	△1	6,629
当期変動額合計	—	84,480	6,630	6,630	△1	91,109
当期末残高	△53,759	1,252,544	16,137	16,137	140	1,268,822

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	6,998	151,126
減価償却費	13,307	5,830
受取利息及び受取配当金	△1,064	△1,859
受取保険金	△1,994	△6,566
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△80	260
売上債権の増減額 (△は増加)	60,725	△198,009
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△4,325	△28,054
前渡金の増減額 (△は増加)	641	1,247
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△2,052	2,052
仕入債務の増減額 (△は減少)	△16,501	56,397
契約負債の増減額 (△は減少)	3,017	△7,883
未払金の増減額 (△は減少)	△10,340	15,543
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△16,411	20,270
その他	△16,489	9,881
小計	15,431	20,236
利息及び配当金の受取額	1,038	1,803
保険金の受取額	3,751	3,751
法人税等の還付額	—	20,995
法人税等の支払額	△45,683	△392
営業活動によるキャッシュ・フロー	△25,462	46,393
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△14,346	△8,857
保険積立金の積立による支出	△110,287	△109,434
保険積立金の払戻による収入	—	7,034
敷金及び保証金の回収による収入	24,666	1,041
資産除去債務の履行による支出	△6,898	—
その他	—	△499
投資活動によるキャッシュ・フロー	△106,865	△110,715
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△9,272	—
配当金の支払額	△16,340	△16,093
財務活動によるキャッシュ・フロー	△25,613	△16,093
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	8
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△157,942	△80,406
現金及び現金同等物の期首残高	760,414	602,471
現金及び現金同等物の期末残高	602,471	522,065

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

1. 関連会社に関する事項

	(単位：千円)	
	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
関連会社に対する投資の金額	0 (注)	—
持分法を適用した場合の投資の金額	—	—
持分法を適用した場合の投資利益	—	—

(注) 関連会社に対する投資の金額は、減損処理しております。

2. 開示対象特別目的会社に関する事項

当社は、開示対象特別目的会社を有しておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に製品・サービス別に各事業部（各ユニット）を置き、各事業部（各ユニット）は、取り扱う製品・サービスについてのマーケティングや営業戦略を立案し、営業活動を展開しており、「イメージング&プリンタコントローラ事業」、「ストレージソリューション事業」、「セキュリティ事業」の3つを報告セグメントとしております。

「イメージング&プリンタコントローラ事業」は、プリンタコントローラ関連製品（関連ハードウェア並びにソフトウェアライセンス）の開発・販売、画像処理ソフトウェアの開発・販売及びプリンタコントローラに関する受託開発をしております。「ストレージソリューション事業」は、ディスクパブリッシャー装置等データアーカイブシステムの販売並びにシステムインテグレーションを行っております。「セキュリティ事業」はセキュアプリントシステムの開発・販売、映像監視システムの開発・販売並びにシステムインテグレーション等を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	イメージング& プリンタコント ローラ事業	ストレージソリ ーション事業	セキュリティ 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	190,799	21,254	425,172	637,225	274	637,500
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	190,799	21,254	425,172	637,225	274	637,500
セグメント利益又は損失 (△)	85,650	△19,541	61,766	127,875	74	127,950
セグメント資産	162,725	2,872	224,757	390,354	108	390,462
その他の項目						
減価償却費	3,214	150	5,451	8,816	1	8,818
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	230	—	428	659	—	659

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受託開発事業等を含んでおります。

当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	イメージング& プリンタコント ローラ事業	ストレージソリ ーション事業	セキュリティ 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	243,342	8,698	613,929	865,970	44,676	910,646
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	243,342	8,698	613,929	865,970	44,676	910,646
セグメント利益又は損失 (△)	110,067	△23,108	186,331	273,289	1,847	275,137
セグメント資産	204,259	4,055	404,369	612,684	1,464	614,149
その他の項目						
減価償却費	1,238	25	3,519	4,783	101	4,885
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	—	143	5,955	6,099	—	6,099

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受託開発事業等を含んでおります。

4. 報告セグメント合計額と財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	前事業年度	当事業年度
報告セグメント計	127,875	273,289
「その他」の区分の利益	74	1,847
全社費用(注)	△124,708	△133,660
財務諸表の営業利益	3,242	141,477

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(単位：千円)

資産	前事業年度	当事業年度
報告セグメント計	390,354	612,684
「その他」の区分の資産	108	1,464
全社資産(注)	955,793	964,344
財務諸表の資産合計	1,346,256	1,578,493

(注) 全社資産は、報告セグメントに帰属しない主に現金及び預金、有形固定資産等であります。

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額(注)		財務諸表計上額	
	前事業年度	当事業年度	前事業年度	当事業年度	前事業年度	当事業年度	前事業年度	当事業年度
減価償却費	8,816	4,783	1	101	4,431	945	13,250	5,830
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	659	6,099	—	—	25,755	3,605	26,414	9,704

(注) 減価償却費の調整額は、報告セグメントに帰属しない、全社資産に係る減価償却額であります。

【関連情報】

前事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社小森マシナリー	121,548	イメージング&プリンタコントローラ事業

当事業年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社小森マシナリー	186,400	イメージング&プリンタコントローラ事業
セントラル警備保障株式会社	104,502	セキュリティ事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	730.78円	787.32円
1株当たり当期純利益	3.70円	62.43円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	—

- (注) 1. 前事業年度及び当事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(千円)	5,988	100,594
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	5,988	100,594
普通株式の期中平均株式数(株)	1,619,372	1,611,400
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	—
(うち新株予約権(株))	(—)	(—)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—	—

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	1,177,712	1,268,822
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	141	140
(うち新株予約権(千円))	(141)	(140)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	1,177,571	1,268,682
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	1,611,400	1,611,400

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 受注状況

当事業年度の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)			
	受注高 (千円)	前年同期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同期比 (%)
イメージング&プリンタコントローラ事業	274,571	43.4	45,532	218.3
ストレージソリューション事業	8,351	△61.9	4,116	△7.7
セキュリティ事業	932,336	229.5	399,534	392.5
その他事業	44,910	16,290.6	233	—
合計	1,260,169	153.9	449,416	349.9

(注) 受注残高合計の内、2027年3月期に売上が見込まれる受注残高は352,084千円であります。

② 販売実績

当事業年度の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)			前年同期比 (%)
	商品	製品&サービス	合計	
イメージング&プリンタコントローラ事業	—	243,342	243,342	27.5
ストレージソリューション事業	1,765	6,933	8,698	△59.1
セキュリティ事業	—	613,929	613,929	44.4
その他事業	24,550	20,126	44,676	16,171.9
合計	26,315	884,329	910,645	42.8

(2) 役員の変動

該当事項はありません。